

## 能楽研究所彙報(一九九三年4月～一九九四年3月)

雑誌名	能楽研究 : 能楽研究所紀要
巻	19
ページ	157-168
発行年	1995-03-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10114/00020469">http://hdl.handle.net/10114/00020469</a>

# 能 楽 研 究 所 彙 報

(一九九三年4月) 一九九四年3月)

## 「紀要『能楽研究』第十八号の発行」

平成6年3月30日付けで、研究所紀要『能楽研究』18号を発行した。A5判三〇四頁。内容は次の通りで、文部省の科学研究費補助金の交付を受けた総合研究の報告を付載したため、三〇〇頁を越えた。

世阿弥の「サルガク」申楽「説をめぐって」 表 章 1

「風姿花伝第四神儀」の成立年代、その他―

古今謡曲総覧(下) 西野春雄 49

付、古今謡曲総覧曲名索引

犬王の時代 落合博志 101

「鹿苑院西国」下向記」の記事を紹介しつつ―

研究展望(昭和63年) 岩崎雅彦 145

研究展望(平成元年) 田口和夫 161

能界展望(昭和63年) 西野春雄 173

能楽研究所彙報(平成3・4年度) 191

江戸初期能番組七種 (1) 302

―番組要綱と曲名・演者名索引―(その二)

演能記録調査研究グループ(代表 表章)

## 「能楽資料集成の発行」

わんや書店と提携して昭和48年から継続刊行している「能楽資料集成」は、第十八回配本として、左の一冊を平成5年度に刊行した。

『上杉本乱曲集』(奥付、平成5年8月25日)。西野春雄所員の校訂。本書は、旧米沢藩上杉家に伝わり、現在、能楽研究所の所蔵にかかる下掛り番外謡本(一〇四冊、五二〇番)と一具の乱曲集三冊で、江戸中期の写本。廃絶曲や本書以外には存在を聞かぬ謡物をはじめ、古今の謡物一七四曲を集成した貴重資料で、以前から公刊が待たれていた。影印と翻刻、及び解説と謡物一覧・索引などを付載した。B6判、二八二頁。定価四千元。会員頒布価三千五百円。なお、当初、平成5年の夏には刊行できる見込みで、奥付も8月25日としたが、印刷その他の関係で実際の刊行は6年2月にずれ込んだ。

## 「第十三回伝統文化ポौर特賞の受賞」

平成5年10月、財団法人ポौर伝統文化財団より、本研究所における、能楽の研究・資料収集・保存・振興に対し、第

十三回伝統文化ボーラ特賞が贈られ、10月15日に授賞式が行われた。賞状の文面に「貴研究所は日本唯一の能楽研究所として永年にわたり能楽研究に従事し優れた成果をあげるとともに、能楽の現場に積極的に生かす活動を行い、能界の活性化に大きな役割を果たしました。これは我が国伝統文化の存続と発展に多大の貢献をするものであります。ここに賞を贈り、その功績を讃えます」とある。賞金五十万円。授賞式には、研究所から表所長・西野所員・山根主事補ら、大学の学務部から小沢部長、助成課から鈴木課長が出席。創立以来40年来の活動が認められたことを喜ぶとともに、関係各位、ことに大学当局のご理解に深く感謝申し上げる。

### 「観世寿夫記念法政大学能楽賞・催花賞」

観世寿夫記念法政大学能楽賞の第十五回授賞者に、平成5年12月3日に開かれた選考委員会(委員は観世栄夫・西哲生・馬場あき子・川上忠雄・表章)の推薦に基づいて安福建雄氏・柿原崇志氏・亀井忠雄氏の三氏が選ばれ、12月7日付で阿利莫二総長名義の通知を各方面に発送した。授賞理由と受賞者の主な経歴は次の通りである。

〔授賞理由〕三氏ともに、能楽大鼓方として優れた力量を示し、曲趣を適確に把握した堅実かつ安定した技芸によって現代の能楽を支えている。かつて能楽の囃子方で最も後継者難が心配されていた大鼓方は、三氏の成長によって盤石の安定を得たと言える。年齢・芸歴・芸力ともに拮抗するので、今

回は同役三氏を受賞者に選ぶ異例の形を採ることにした。

### 〔受賞者〕 安福建雄 (やすふく・たつお) 氏

〔主な経歴〕大鼓方高安流宗家預り。日本能楽会会員。昭和13年11月14日生れ。東京都出身。故安福春雄(高安流宗家預り。人間国宝)の長男。父に師事。初舞台は昭和22年の「経正」。昭和29年9月に発足の能楽三役養成会の第一期生。立教大学文学部日本文学科卒。昭和34年「道成寺」を披く。40年11月、一噌幸政・住駒明宏・鏑木岑男・山本則寿氏と能楽春秋会を結成して約十年間活動(第一回が観世寿夫「邯鄲」)。57年「檜垣」を披く。58年に父が没して宗家預りとなり、同年「関寺小町」・翌59年「姨捨」を披く。おおらかで、かつ曲の位的的確にとらえた演奏に定評があり、東京芸大邦楽科・国立能楽堂研修主任講師として後進を指導している。趣味はゴルフと読書。読書は学生時代から海外の推理小説を好み、近年は中国の歴史物も愛読。長男光雄氏が後継者。

### 〔受賞者〕 柿原崇志 (かきはら・たかし) 氏

〔主な経歴〕大鼓方高安流。日本能楽会会員。昭和15年11月30日生れ。福岡県出身。柿原繁蔵(第3回催花賞受賞者)の長男。最初は父に師事し、初舞台は昭和32年の「敦盛」。34年3月、大牟田北高校卒業と同時に上京して安福春雄に師事。能楽三役養成会の第二期生。「石橋・翁・道成寺」などの習物を次々と披き、48年、昭和47年度(第23回)芸術選奨新人賞を受賞。62年「檜垣」「卒都婆小町」、63年「姨捨」を披く。曲趣を重んじ、氣力を込めながらの緩急自在な演奏はすこぶる

評価が高い。国立能楽堂研修講師・東京芸大講師として後進の指導に尽力し、長男弘和・次男光博(芸大生)氏のみならず、九州で活動している甥白坂信行・保行兄弟をも後継者に育てている。父繁蔵氏からの三代が現役なのは稀なケース。趣味は読書(特に歴史物)、スポーツ観戦。

〔受賞者〕亀井忠雄(かめい・ただお)氏

〔主な経歴〕大鼓方葛野流。日本能楽会会員。昭和16年12月1日生れ。東京都出身。故亀井俊雄(人間国宝)の次男。父および川崎九淵・吉見嘉樹に師事。初舞台は27年の「花月」。安福氏と同じく昭和29年発足の能楽三役養成会の第一期生。「翁・獅子・乱」は高校時代に披きながら「道成寺」が40年まで後れたのはシテを選んだ頑固さのため。日大芸術学部演劇学科卒。学生時代に観世寿夫氏が中心の世阿弥伝書研究会に出席し、氏から甚大な影響を受けた。「檜垣」「姨捨」もすでに披き、天賦の才に基づく牽引力のある積極的演奏で多くの能の成功に寄与している。兄は幸流小鼓方、弟は宝生流シテ方、末弟は葛野流大鼓方、夫人は歌舞伎囃子の田中佐太郎さん、長男が後継者の広忠氏、次男・三男も歌舞伎囃子に従事する芸能一家である。趣味はゴルフ等。

なお、平成5年度の催花賞については選考に当たっている能楽研究所所員会議で審議した結果、平成5年度は該当者なしと決定した。

### 「鈴木一雄氏からの資料の受贈」

シテ方観世流の長老の鈴木一雄氏(92歳)より、左の資料をご寄贈いただいた。鈴木家は元ワキ方進藤流の家で、寄贈された資料も脇方伝書が主体である。鈴木氏は以前にたびたび茅ヶ崎のお住まいから元氣に来所されて進藤流謡本などを調査されていた。近年、身の回りの整理を進められておられた由で、書物の寄贈から十数日後に急逝された。あるいは死を覚悟されての御寄贈であったのかもしれない。鈴木氏のご厚志に対し心から御礼申し上げ、御冥福をお祈り申し上げます。

『進藤流脇形付』(題「脇附」)

中型横本 一冊

『進藤流セリフ』

小型枕本 一冊

『進藤流装束小道具附并謡心覚』

小型枕本 一冊

進藤権之助筆『進藤小道具附』

小型横本 一冊

明治廿二年鈴木誠筆『進藤流習事書上』

仮綴枕本 一冊

延宝二年秋田屋五郎兵衛刊観世流謡本

半紙本五番綴 二十冊

木下敬賢編『能楽蘊奥集』(明治二十三年刊)

六冊

### 「研究・調査活動」

平成5年度の調査活動のうち、主なものとして次の5件を報告する。

- ①彦根城博物館所蔵の能楽資料の調査撮影。表章所長担当。
- ②九州大学図書館および長崎県立図書館諫早文庫蔵の能楽資

料の調査。表章所長担当。

③京都生蓮寺藏喜多家関係文書の調査と撮影。表所長担当。

④寝屋川市岡田造家藏脇方文書の調査と撮影。表所長担当。

⑤大槻文蔵氏藏能楽資料の調査。西野春雄所員担当。

### 共同研究「演能記録の全国的総合調査と演能年表の作成」

前号で報告した文部省科学研究費補助金「総合研究(A)」の交付を受けて進めている「江戸初期以前の演能記録の総合的研究」(表章代表)は、3年目に入り、ほぼ計画通り進行、その成果の一部を前号・本号に付載した。

### 能楽史研究会

能楽研究所主催の形で続けている月一度の能楽史研究会は、前年度に引き続き『八帖本花伝書』の輪読を行った。参加者は毎回二〇名前後である。

### 「所員研究業績」(\*は前年度分補遺)

#### 表 章

世阿弥の「サルガク」申楽説をめぐって

—「風姿花伝第四神儀」の成立年代、その他—

『能楽研究』18号 6年3月 48頁

江戸初期能番組七種—番組要綱と曲名演者名索引—(その一)

演能記録調査研究グループ代表名義

『能楽研究』18号 6年3月 91頁

#### 西野 春雄

\*少年少女古典文学館『能・狂言』別役実・谷川俊太郎著

(小林保治・小林貢氏らと本文コラムを担当) 5年2月

佚曲再検②③ 藤崎(二)・原木・白雀(再)・御渡・扇塚・

花見書生・清正・廃大名・大地踏・十五里原・玉松

『宝生』5年4・6・12月、6年1・3月 計46頁

「実方」復活—能本を作成して—

能劇の座第四回公演パンフレット 6月 4頁

明日の能を求め続けた観世寿夫

『日本の創造力』—近代・現代を開花させた四七〇人—

第十四巻復興と繁栄への奇跡 NHK出版 11月 12頁

大和田建樹日記の行方 『橘香』5年12月 1頁

古今謡曲総覧(下) 『能楽研究』18号 6年3月 52頁

能界展望(昭和63年・平成4年)

『能楽研究』18号 6年3月 18頁

#### 田口 和夫

\*貞和五年棧敷崩れ田楽『落書和歌七首』補正

『能楽研究』18号 5年3月 17頁

「汲水閑話」徒然の雑餉—〈苞啣い〉から〈土産山伏〉へ—。

〈文蔵〉の「いくさ物がたり」—狂言の仕方話—。地蔵坊

の系譜—狂言〈地蔵舞〉と「生身地藏縁起」—。〈寝音曲〉

の演出—明和中根本の注記から—。〈巻絹〉と稚児の孝行

—『沙石集』と『因縁集』—。

『能楽タイムズ』5年4・6・8・10、6年1月 各1頁

山の神の笑い 『第二十一回篠山春日能』5年4月 1頁

〈蚊相撲〉の団扇と相撲—〈相撲〉のこと

『第十一回蝸牛の会』 5年6月 2頁  
釣狐―狐の信仰と狂言の間

『第十七回丹波夜能』 5年9月 1頁

榎並楽頭のこと―醍醐寺能楽史関係史料再検―

『鍬仙』417号 5年11月 2頁

曲の周辺 『第四回槌の会』 5年11月 2頁

〈右流左止〉・へいぐゐの難語―天理本狂言六義の注から―

『鍬仙』420号 6年2月 2頁

研究展望(平成元年) 『能楽研究』18号 6年3月 12頁

#### 竹本 幹夫

\*〈三井寺〉小考 『鍬仙』403号 4年6月 2頁

\*日本語とコンピュータ 『早稲田大情報センター』

WELCOME NEWS』23号 4年8月 3頁

\*江戸時代諸藩における能役者の身分

『国文学研究』108号 4年10月 9頁

\*「口頭発表」江戸時代における四座の能役者の地方進出

の実態 芸能史研究会東京例会 4年12月

\*幕藩体制下の能楽―演能記録データベースと江戸時代能

楽史『国文学研究―資料と情報』14号 5年3月 23頁

〈夕顔〉小考 『鍬仙』420号 6年2月 2頁

岡山藩池田家と能楽 『国立能楽堂特別展示林原美術館蔵

備前池田家伝来の能面・能装束』 5年10月 3頁

#### 山中 玲子

〈ワカ受ケ〉の役割 『鍬仙』416号 5年10月 2頁

狂言〈川上〉の妻

『東京大学留学生センター紀要』4号 6年3月 19頁

#### 岩崎 雅彦

\*『一角仙人』演出の歴史 『観世』12月号 4年12月 5頁

\*謡の歴史

『国立能楽堂企画展パンフレット』 5年3月 3頁

\*太鼓観世家藏金春元安筆『臨終書』―紹介と考察―

『能楽研究』17号 5年3月 14頁

書評・松岡心平著『宴の身体』

『芸能文化史』12号 5年5月 6頁

『東方朔』演出の歴史 『観世』9月号 5年9月 5頁

『仏原』演出の歴史 『観世』12月号 5年12月 6頁

お伽草子術語集40 歌謡・狂言・稚児・能

『国文学』1月号 6年1月 2頁

天保二年の遊女能 『鍬仙』419号 6年1月 5頁

研究展望(昭和63年) 『能楽研究』18号 6年3月 16頁

#### 落合 博志

『徒然草』に関する考察(一題―第六十七段・第七十九段―

『法政大学教養部紀要』90号 6年2月 33頁

犬王の時代―『鹿苑院西国下向記』の記事を紹介しつつ―

『能楽研究』18号 6年3月 44頁

#### 「客員所員の委嘱、及び海外からの研究者」

オハイオ大学助教授シェリー・フェノ・クイン氏はフルブ

ライト奨学金により平成4年夏より来日中で、平成5年9月より6年8月まで能楽研究所で観世寿夫について調査研究されたが、平成5年10月1日から6年9月30日まで、同氏に客員所員を委嘱し、主としてアメリカでの能楽研究の文献蒐集について協力を仰いだ。

日本国際教育協会帰国外国人留学生短期研究制度により来日したテル・アビブ大学助教授ツビィカ・セルベル氏が平成5年9月より6年10月まで能楽研究所に留学された。また氏には平成5年10月1日から平成6年9月30日まで客員所員を委嘱した。

コーネル大学教授寺崎悦子氏が4月に来所され資料を調査された。

ミュンヘン大学助教授スタンカ・シオルツ氏が4月に来日、能楽研究所を利用し2ヶ月間能楽資料の調査をされた。

ライデン大学教授エリカ・デポーター氏が平成6年2月3月にかけて来所され、調査研究にあたられた。

ほかにダルコ・スーヴィン教授（カナダ・マツルギ大学）、ケ・ベルラ氏（コロンビア・アンデス大学アジア研究センター）が12月に来所。ロベルタ・スフェルツィイ氏（パドヴァ大学）が来所された。

#### 「日本学術振興会特別研究員受入れ」

法政大学大学院博士課程終了（単位取得）の樹下好美氏は、平成4年度に引き続き、表章所長を指導教授に能楽研究所を

研究の場として研鑽された。

#### 「蔵書の出品・撮影」

国立能楽堂企画展「能の謡」（平成5年3月13日～4月23日）に謡本の出品を許可した。

仙台市博物館企画平成5年度春季特別展「大名の精華―仙台伊達家の至宝」（平成5年4月24日～6月6日）に謡本の出品を許可した。

富山県高岡文化ホール「能楽資料展」（平成5年8月13日～8月23日）に謡本・型付の出品を許可した。

サントリー美術館主催「謡曲のイコノロジー」展（平成5年10月12日～11月14日）に、光悦謡本等の出品、及び図録への写真掲載を許可した。

NHK大阪放送局の「ハイビジョン日本美再発見『能面30分』番組制作のため世阿弥の芸術論書数点の撮影を許可した。

国文学研究資料館からの依頼により平成5年6月14日より6月17日まで、鴻山文庫資料のうち『直伝脇仕形并装束付』他四九点の撮影を許可した。

#### 「雑報」

##### 訃報

元能楽研究所所長で、観世寿夫記念法政大学能楽賞設定以来、十年間、選考委員を務められた元法政大学文学部教授廣

末保氏が、平成5年10月26日、腎不全のため柏市の国立癌センター東病院緩和ケア病棟で逝去された。享年73歳。氏は近世文学が専門で、近松・芭蕉・西鶴ほかの研究面で主導的な役割を果たして来られた。能楽研究所への鴻山文庫寄贈が実現したのも廣末所長の時であり、その後も研究所の活動について大所高所からご助言をいただいた。あらためてご冥福をお祈り申し上げる。

# 「平成5年度の所員名と関連委員名」

## ◎所員

所長	文学部教授	表章
専任所員	文学部教授	西野春雄
兼担所員	第一教養部教授	片桐登
兼担所員	文学部教授	黒川欣映
兼担所員	法学部教授	飯田泰三
兼担所員	第二教養部専任講師	落合博志
兼任所員	文教大学教授	田口和夫
兼任所員	早稲田大学教授	竹本幹夫
兼任所員	東京大学留学生センター助教	山中玲子
兼任所員	文学部兼任講師	岩崎雅彦
主事補(事務職)		山根朝子

\*表章所長は平成5年3月で定年を迎えたが、定年延長が認められ、引き続き能楽研究所の業務に従事することとなった。

## ◎運営委員

議長	所長	表章
委員	専任所員	西野春雄
委員	兼担所員	片桐登
委員	兼担所員	黒川欣映
委員	兼担所員	飯田泰三
委員	兼担所員	落合博志

## ◎法政大学能楽振興基金委員

委員長	理事(研究所担当)	川上忠雄
委員	常務理事(経理担当)	鬼塚豊吉
委員	元国立能楽堂主幹	福田安男
委員	千歳第一病院理事長	服部康治
委員	能楽研究所所長	表章
委員	能楽研究所所員	西野春雄

## ◎法政大学能楽賞委員

委員長	理事	川上忠雄
委員	常務理事	鬼塚豊吉
委員	能楽研究所所長	表章
委員	能楽研究所専任所員	西野春雄
◎法政大学能楽賞選考委員		
委員長	理事	川上忠雄
委員	能楽評論家	西哲生
委員	観世流能楽師	観世栄夫
委員	歌人	馬場あき子



委員 能楽研究所所長 表 章

「受贈図書」

単行本(受入順。\*は寄贈者)

- 宮島本大蔵虎光狂言集 \*永井猛・高橋修三校訂  
4年5月 米子工業高等専門学校国語研究室  
花の跡 森茂好追悼文集 森茂好追悼文集編集委員会  
5年2月 \*森常好 二見書房  
謡曲の和漢朗詠集受容 芹川軻生・\*飯塚恵里人著  
5年3月 奇呆虎洞  
能楽図説(岩波講座 能・狂言 別巻) 横道萬里雄編  
5年5月(第2刷) \*岩波書店  
野口兼資 能になった能役者 \*山口憲編  
5年4月 能楽出版社  
観阿弥・世阿弥時代の能 \*竹本幹夫著  
4年3月 大東急記念文庫  
加賀藩御細工所の研究(二) 高澤裕一監修 \*西村聡  
5年3月 金沢美術工芸大学美術工芸研究所  
観世宗家 幽玄の華(観世文庫設立記念展)  
観世清和・表章監修 4年 \*朝日新聞社  
朝日新聞社文化企画局西部企画部  
写楽・考 \*内田千鶴子著 5年5月 三一書房  
能・謡曲選 \*松田存・西一祥編 5年5月 翰林書房  
仮面と信仰(新潮選書) \*中村保雄著 5年4月 新潮社

梁塵秘抄・閑吟集・狂言歌謡(新日本古典文学大系56)

小林芳規他校注 5年6月 \*橋本朝生 岩波書店

狂言鑑賞案内(岩波講座VII 能・狂言) 小山弘志編  
5年4月(第2刷) \*岩波書店

加賀藩御細工所の研究(一)

\*金沢美術工芸大学美術工芸研究所 元年11月 同研究所

加賀藩御細工所の研究(二)

\*金沢美術工芸大学美術工芸研究所 5年3月 同研究所

人体美学(下) 西田正秋著作集 西田正秋著 \*西田照見  
5年5月 現代社

芸能論考XIV(芸能の科学21)東京国立文化財研究所芸能部編  
5年3月 \*同研究所

隠岐の掾 筆写本(私家版) 松本安雄詞・浅見真高節付  
5年睦月 \*松本安雄

隠岐の掾 活字本(私家版) 松本安雄詞・浅見真高節付  
5年睦月 \*松本安雄

大名の精華 —仙台伊達家の至宝— 特別展図録  
仙台市博物館 5年5月 \*同博物館

舞台芸術交流年鑑 92 国際舞台芸術国際センター  
5年3月 \*同センター

狂言共同社の百年(上下) \*井上松次郎編  
5年8月 名古屋狂言共同社

能面の美 \*中村保雄編 5年9月 駸々堂

渡辺家史料目録(柳川古文書館史料目録6) 柳川古文書館

お能の見方(とんぼの本)

白洲正子・吉越立雄

5年3月 \*同館

宝生流点字小謡集 田辺建雄編・著

5年7月 \*新潮社

4年10月 \*光ある記録の会

禅における世阿弥と良寛

\*前田伴一著 5年10月 錦正社

未刊謡曲集 続十二 \*田中允編

5年10月 古典文庫

東西演劇の出会い―能・歌舞伎の西洋演劇に与えた影響―

サン・キョン・リー著・\*田中徳一 5年10月 新読書社

福王流古伝書集(研究叢書137)

\*伊藤正義編著

5年11月 和泉書院

日本歴史館(全1巻)

佐原真他

5年12月 \*小学館

二十年のあゆみ 石川県立能楽堂

5年3月 \*同能楽堂

こころの達人 鎌田茂雄 5年12月 日本放送出版協会

日本の『創造力』14 日本放送出版協会編 \*西野春雄

5年11月 同協会

雪うち払いて見れば面白や ―私本 横山柚人さん追憶―

\*坂田昭二編 4年11月 坂田昭二

幸若舞(大頭流)

幸若舞保存会

6年1月 同会

\*エリカ・デ・ポーター

大江の幸若舞

幸若舞記録作成委員会編 昭和54年3月

\*エリカ・デ・ポーター 幸若舞保存会

近代文学研究叢書

第67巻 昭和女子大学近代文学研究室

5年7月 \*昭和女子大学近代文化研究所

石橋メモリアルホール 能と狂言の夕べ 第1回〜第10回

石橋裕編 4年4月 \*上野学園

音と言葉(谷村晃先生退官記念論文集)

谷村晃先生退官記念論文集編集世話人編

\*藤田隆則 5年9月 音楽の友社

未刊謡曲集 続十三

\*田中允編 6年2月 古典文庫

立原正秋(新潮日本文学アルバム55) 兵庫正之助編著

6年3月 \*新潮社

花の御所と日野富子 今谷明監修

6年4月 \*日本放送出版協会

鷹見家歴史資料目録 古河歴史博物館

5年3月 \*古河市教育委員会

観世 第59巻(平成4年1〜12月合本)

4年 \*檜書店

Warrior Ghost Plays from the Japanese Noh Theater

\*島崎千富美訳 1993 cornell university

Aspect des mittelalterlichen Synkretismus im Bild des

Temman Tenjin im Nô \*Scholz, Stanca

1989 München University

Theatre Year-Book 1993

国際演劇協会日本センター

5年3月 \*国際演劇協会

Nô-Masken im Museum Rietberg Zürich

Brigit Bernegger etc. 1993 \*Stanca Scholz

Museum Ritberg Zürich

HAGOROMO DE ZEAMI Haroldo de Campos 1993

\* 続木 Editora Estação Liberdade

KASUGAWAKAMIYA ON-MATSURI \* 池尾和子

春日若宮おん祭保存会

春日若宮御祭 (中国語) \* 池尾和子 春日若宮おん祭保存会

Nô Gewänder und Masken des japanischen Theaters

\* Stanca Scholz-Cionca 他

1993 Linden-Museum Stuttgart und Autoren

International Symposium on the Conservation and

Restoration of Cultural Property: Nô Its transmission

Tokyo National Research Institute of Cultural

Properties 1991 \* 東京国立文化財研究所

INTERNATIONAL THEATRE MONTH IN JAPAN 1992

I. T. I JAPAN CENTRE 編 1992

\* I. T. I JAPAN CENTRE

雑誌・紀要など (特記した以外は発行所からの寄贈)

誌名・号数・発行年・発行所の順

跡見学園国語科紀要 41号(平5) 跡見学園国語科研究会

跡見学園短期大学紀要 29号(平5) 跡見学園短期大学

梅若 309号(平5) 梅若会

永青文庫 46号(平5) 永青文庫

演劇学 34号(平5) 早稲田大学演劇研究室

演劇研究 16号(平5) 早稲田大学演劇博物館

演劇博物館 69・70号(平5) 早稲田大学演劇博物館

岡大文論稿 21号(平5) 岡山大学文学部国語国文学研究室

沖縄芸術の科学 6号(平5) 沖縄県立芸術大学附属研究所

沖縄県立芸術大学紀要 1号(平5) 沖縄県立芸術大学

学苑 649号(平6) 昭和女子大学近代文化研究所

学習院大学国語国文学会誌 36・37号(平5・6)

学習院大学文学部国語国文学会

片山九郎右衛門後援会会報 54号(平5)

片山九郎右衛門後援会

花伝 (財団法人観世文庫年報) 1号(平5) 観世文庫

金沢大学国語国文 19号(平6) 金沢大学国語国文学会

KAWASHIMA 35号(平5) \* 天野文雄 川島織物

観 昭 24巻2号・24巻4号(平5) 観昭会館

観 世 60巻4号・61巻3号(平5・6) 檜書店

かんのう 286号(平5) 大阪能楽観賞会

橘 香 38巻7号・38巻12号(平5) 梅若研能会

九州芸術学会デアルテ 9号(平5)

\* 都築悦子 西日本文化協会

紀要 18号(平5) 国士館短期大学

紀要 35号(平5) 実践女子大学・同短大

芸能 35巻10号・11号(平5) 芸能発行所

芸能文化 (名古屋) 3号(平5)

\* 飯塚恵理人 名古屋芸能文化会

研究紀要 14巻1号(平5) 鹿児島女子大学

研究紀要 20号(平5) 京都橘女子大学研究紀要編集委員会

- 言語文化 10号(平5) 明治学院大学言語文化研究所  
 光華日本文学 創刊号(平5) 光華女子大学日本文学会  
 国語国文学 7号(平5) 北九州大学国語国文学会  
 国語国文学 1・2号(平4・5) 目白学園女子短期大学国語国文科研究室  
 国語国文研究 92・95号(平4・6) 北海道大学国文学会  
 国際日本文学研究集会会議録第16回(平5)
- 国文学 70号(平5) 国文学研究資料館  
 国文学科紀要 11号(平6) 関西大学国文学会  
 国文学研究 109・110号(平5) 上智大学国文学科  
 国文学研究資料館紀要 19号(平5) 早稲田大学国文学会  
 国文学研究資料館報 40・41号(平5) 国文学研究資料館  
 国文学論集 27号(平6) 上智大学国文学会  
 国文学論集 29号(平5) 山梨大学国文学研究室  
 国文学論叢 39号(平6) 龍谷大学国文学会  
 国文目白 33号(平6) 日本女子大学文学部国語国文学会  
 国立能楽堂 116号・127号(平5・6) 日本芸術文化振興会  
 語文 60・61輯(平5) 大阪大学国語国文学会  
 駒沢国文 30号(平5) 駒沢大学文学部国文学研究室  
 金剛 48巻1号(平5) 金剛雜誌会  
 金剛の能 (平5) 東京金剛会  
 金春月報 14巻4号・15巻3号(平5・6) 金春月報編集部  
 サントリー美術館ニュース 130号・139号(平5・6)
- 実践国文学 43・44号(平5) 実践女子大学実践国文学会  
 女子大國文 113・114号(平5) 京都女子大学国文学会  
 女子大文学国文編 45号(平6) 大阪女子大学国文学研究室  
 書陵部紀要 44号(平5) 宮内庁書陵部  
 尚謡 74・76号(平5・6) 尚謡発行所  
 人文科学科紀要 97号(平5)
- 東京大学教養学部人文科学科国文学・漢文学研究室  
 人文学報 243号(平5) 東京都立大学人文学部  
 人文研紀要 17・18号(平5) 中央大学人文科学研究部  
 梶山国文学 17・18号(平5・6) \*飯塚恵理人 梶山女学園大学国文学会  
 成蹊国文 26号(平5) 成蹊大学文学部日本文学科研究室  
 聖心女子大学論叢 80・82号(平5・6) 聖心女子大学  
 仙台市博物館調査研究報告 13号(平5) 仙台市博物館  
 仙台市博物館年報 20号(平5) 仙台市博物館  
 禅文化研究所紀要 19号(平5) 禅文化研究所  
 双鷺 39・40号(平5) 双鷺社  
 近松研究所紀要 4号(平5)
- 園田学園女子大学近松研究所  
 中央大学国文 36号(平5) 中央大学国文学会  
 中央大学人文科学研究所年報 14号(平5) 中央大学人文科学研究所  
 鍊仙 412・421号(平5・6) 鍊仙会

- 伝統芸能 451(462号(平5(6) 京都伝統芸能懇話会  
 徳島文理大学文学論叢 10号(平5)  
 二松 7号(平5) 徳島文理大学文学部文学論叢編集委員会  
 二松学舎大学東洋学研究所集刊 23号(平5) 二松学舎大学大学院文学研究科  
 二松学舎大学論集 36号(平5) 同研究所  
 日本研究 8・9号(平5) 二松学舎大学  
 日本古典文学会会報 124・125号(平5・6) 国際日本文化研究センター  
 日本文学 70・71号(平5・6) 立教大学日本文学会  
 日本文学研究 25号(平6) 帝塚山学院大学日本文学会  
 日本文学論究 53冊(平6) 国学院大学国語国文学会  
 日本文学研究年誌 3号(平6)  
 年報 12号(平5) 金沢女子大学日本文学研究室  
 能 (平5(6) 実践女子大学文芸資料研究所  
 能 (平5(6) 観世能楽堂  
 能 (平5(6) 京都観世会館  
 能 (平5(6) 宝生能楽堂  
 能 能楽協会報 38号(平5) 能楽協会  
 能 研究と評論 20号(平5) 月曜会  
 能楽鑑賞教室(第10回)(平5) 日本芸術文化振興会  
 能楽タイムズ 493(504号(平5(6) 能楽書林  
 能楽の友 316(327号(平5(6) 能楽の友社  
 能楽連盟報 59(61号(平5(6) 新潟県能楽連盟  
 表演 1号(平5) 兵庫現代芸術劇場
- 富士論叢 37巻2号・38巻1・2合併号(平4・5)  
 仏教大学総合研究所報 4・5号(平5) 富士短期大学学術研究会  
 文学史研究 34号(平5) 仏教大学総合研究所  
 文教大学国文 22号(平5) 大阪市立大学国語国文学研究室文学史研究会  
 文芸論叢 39・40号(平4・5) 文教大学国語研究室  
 文献ジャーナル 33巻6号(平6) 大谷大学文芸学会  
 文林 27号(平5) 松陰女子学院大学国文学研究室  
 宝生 42巻4号(43巻3号(平5(6) 宝生 松陰女子学院大学国文学研究室  
 北陸古典研究 8号(平5) \*西村聡 北陸古典研究会  
 まくあい 5・6号(平5)  
 待兼山論叢 27号(平5) 大阪大学文学部芸能史演劇学講座  
 宮島の歴史と民俗 10号(平5) \*永井猛 大阪大学文学部  
 目白学園女子短期大学研究紀要 30号(平5) 宮島町立宮島歴史民俗資料館  
 山辺道 37号(平5) 天理大学国語国文学会